

南奥駈道(前鬼く本宮大社)抖擻行

(行仙宿で支援・懇談及び整備作業)

◇実施日 平成26年10月26日(日)～27日(月)

◇参加者 今野孝祐、椎木 堯、川島 功 3名。

椎木氏から10\26行仙宿に宿泊するが、接待無用とのメール連絡があった。宮城県岩沼市の今野・羽黒山行者、広島県広島市・櫻本坊所属(不得度)椎木行者が、遠路から抖擻行に来られる事から、行仙宿に支援・懇談に行こうか思案していた。

昨日、新ハイキングクラブが、持経宿で昨年事故死された方の追悼式が執り行われ、持経宿く熊野本宮縦走班は、一旦下山して本日早朝より縦走するために、池郷林道ゲートを通過するためにゲートの合鍵が必要であり、合鍵を中野リーダーに預け、行仙宿で返して貰う事にして行仙宿に行く事にした。

行仙宿に9時前に登る。行仙宿で新ハイキング一行にコーヒで休憩して頂くため、コーヒ茶碗14名分用意し、お湯を沸し沸いた時点で、予想より早く中野リーダー以下11名が着かれ合鍵を返して貰う。十津川温泉宿では3時前に起きたとの事。持経宿に宿泊すれば良かったのに・・・。

ゆつくり休憩され、9時40分笠捨山へ向われ、「また南奥駈道を歩いて下さい」と握手で見送る。

水汲みに下りる。段差を補修する必要がある所が3箇所ある。水汲み後、先日ロケットストーブの内筒煙突に穴が開き、パライト断熱材が囲炉裏にこぼれ落ちた。穴の開いた箇所には煙突材で塞ごうと外側のドラム缶を持ち上げて外し、内筒及び鉄板部を持上げると真下に断熱材が多量落ちている。ひっくり返

しを断熱材抜いて調べると、下部鉄板も劣化し内藤周りが大きく隙間が出来ている。鉄板の穴を塞ぐ材料を探すとステンレスの板の残材が運良くあり、煙突径より小さく金切鋏で切り鉄板の穴を塞ぎ、穴の開いた内筒は使用済煙突に替え、断熱材を周りに充填した。試し焚きをすると首尾よく燃え、応急的な修理であるが使用出来る様になった。

昼食後、水場径の3箇所の段差補修。チェーンソー刃の目立て。工具箱の整理。先般、皮剥ぎした丸太材の寸検をするが、一人では積替えが出来ず本数のみ調べると52本あった。

17時頃より霧が出て来る。18時前に坂を下ってくる足音と明かりを捜すが見えない。

四足抜きのおでんを食べ始めるとヘッドランプを付けた人が宿内に来られる。「椎木さん！」と声をかけると川島氏かとビツクリされる。行者堂で勤行後、水汲みと言われたが、霧もかかり、水も十分あり着替えて頂き、白装束はストーブの周りに吊す。修理したストーブは、以前と変わらず煙も出ず暖かい。



新ハイキングの方々



おでんで楽しく懇談！

行者堂のお供え柿は、千乗院の250年生のご神木的な甘柿で、吉開師から送って頂き、先般行事参加者に分けた時の柿な

ので、福に預かる様に召し上がって貰う。

おでん・チンゲンサイの胡麻和え、里芋(八つ頭)の茎の甘酢漬けを囲み懇親懇談する。21時半前に就寝。夜中に稲光と雷そして雨音に寝づらい。

朝方には、雨が止むがやや濃い濃霧に覆われている。

ばら寿司、夕食の残り、インスタント味噌汁で朝食。

未使用の佐藤のごはんとレトルトカレーは、非常食のケースに追加させて頂く。

勤行後、6時10分やや濃い霧の中を出立される。

後片付けと室内掃除、戸締り確認。荷上げした衣装缶の利用により1斗缶が余り、持経宿・平治宿で使用のため2缶下す。

国道425号線の時間帯通行制限があり、朝の通行可能時間内に通過するために早々に下山する。

尚、椎木さんは、南奥駈道抖擻行の寄稿を後日して頂くことになっていきます。



出立準備！



行者堂で勤行後濃霧の中の出立

行動タイム

10月26日(日) 晴後曇り・夕方山霧発生・夜半雷と雨

鵜殿 6:40→8:00 行仙宿登山口 8:10→8:50 行仙宿。新ハイキングクラブ・コーヒー接待(9:15～9:40)。午前中；水汲み・ロケットストーブ修復。午後；水場径の木製段差3段補修。チェーンソー刃目立て・工具箱整理・10/18～19の皮剥ぎ丸太材数調査。椎木・今野行者；行仙宿18:00着。就寝21:20。

10月27日(は、月) やや濃霧、小雨のち曇り

起床5:00。椎木・今野行者出発6:10。

川島・行仙宿6:55→7:20 行仙宿登山 7:25→9:00 鵜殿。

(記 川島)